

集落支援員の つながる Gojome! ごじょうめ

集落支援員とは？

地方自治体から委嘱を受けて集落の
維持・活性化を支援しています。

こんにちは、集落支援員の越高です。

猛暑の夏と、忙しくも楽しいお盆が過ぎ、ほっと一息…と思いきや、農家の方は豊作を感じながら、稲刈りに汗を流しています。お疲れさまです。

今回は、8月22日に行われた「ばばめ盆踊り」の様子と、地域づくりワークキャンプの様子をご紹介します。

ばばめわくわくの会、馬場目地区公民館、ババメベースが共催した盆踊りには、住民約60人が参加。スイカ割りや花火、歌や踊り、そしてお酒とバングラデシュカレーを囲みながら、夏の夜を楽しみました。

地域づくりワークキャンプでは、大学生6人が2週間五城目町に滞在。町の人たちと「健康と幸せ」を考え、実践する実りある時間となりました。また、



海外派遣実習のため2か月滞在したJICAの3人も、町の皆さんとの交流を通じて、町のこれからにつながる新たな方向性を見つけ、濃密な時間を過ごしました。

学生やJICAの皆さんの目を通して町を見ることで、当たり前だった風景や日常の中にもたくさんの楽しさや喜びがあると、改めて実感しました。

私たちも、これからの町との新しい関わり方を考えていきたいと思っています。



地域づくりワークキャンプの様子

五城目の屋根から見える、雪国の暮らし

Hello again to everyone in Gojome Town.

Since arriving here a few weeks ago, I have spent my evenings exploring the town on my bicycle. It has been a wonderful way to get to know the area, and I have noticed many interesting things. One thing in particular reminded me of my previous home in Itayanagi Town, Aomori.

In Itayanagi, I noticed that many houses had flat rooftops. Since Aomori is famous for its heavy snowfall, these flat roofs became a challenge in the winter. They would collect thick layers of snow, and it was common to see people climbing up onto their roofs to shovel the snow off to keep the houses safe. When I look at the triangular roofs here in Gojome, I feel a sense of relief. The slopes make so much sense for the weather, as the snow can simply slide away. It is a small architectural detail, but it makes life much easier.

五城目町のみなさん、改めてこんにちは。

ここに来て数週間、夕方になると自転車ですり、いろいろな場所を見て回っています。自転車は地域を知るための素晴らしい方法で、たくさんの興味深いものに気がつきました。中でも、特に以前住んでいた青森県板柳町を思い出すものがありました。

板柳町では、平らな屋根の家をたくさん見かけました。青森は雪が多いことで知られているため、冬になると平らな屋根は大変です。屋根に厚く雪が積もるので、家を安全に保つために屋根に上って雪下ろしをする人をよく見かけました。

五城目町の三角形の屋根を見ると、傾斜があることで雪がそのまま滑り落ちてくれるため、雪の多いこの地域の気候には、この形がとても合っていると感じ、ほっとします。小さな建築上の工夫ですが、暮らしをずっと楽にしてくれています。

アリのアリの五城目便り②



トリニダード・トバゴ出身。
2026年8月7日から、町の外国語指導
助手 (ALT) に着任しました。

Ali Trifan アリ
イリファーン



役場3階から撮影した町の風景

令和7年6～8月の約75日間、JICA海外協力隊グローバルプログラムで五城目町に滞在した齊藤萌々子さんと横谷怜奈さん。お二人から、それぞれの派遣国であるルワンダ共和国とガーナ共和国から、言語・食・歴史・観光などの情報を連載いただくことになりました。お楽しみに！

JICA
海外協力隊

もも & れなのアフリカ日記



氏名/齊藤萌々子さん (千葉県出身)
滞在地/ルワンダ共和国



ルワンダの井戸の前で撮った1枚

五城目町のみなさん。ご無沙汰しております。

令和7年6月から8月までの約75日間グローバルプログラムでお世話になりました齊藤萌々子です。お元気ですか？

私は令和7年12月に日本を出発し、ルワンダに赴任して約9か月が経ちました。はじめは知り合いがいない地域でのひとり暮らしで、孤独を感じる事が多くありました。今は任地での生活や活動にも慣れ、日々楽しさを感じながら活動することができています。

私の任地は、首都キガリから車で2時間半のところにあります。断水は2日に1回程度、停電は月に1回

程度起きる環境で暮らしています。近所の人たちも私のことを覚えてくれて家の前やマーケットで声をかけてくれるようになり、友だちもできました。地域に自分のことを知ってくれている人がいるということが暮らしやすさにつながるのだなと感じています。これから活動の様子や現地の人々との交流についてお届けできたらと思います。お楽しみに！

「短歌」

朝まだき網戸にすがる蟬せみに
今日も酷暑か声かける吾

古川町 小濱 千エ

今年の夏地球燃えたよ日々三十度
大根の若芽焼けて枯れたよ

岡本 大石 政子

沿道に見つけし花は薄桃の
キツネノカミソリ子ども園前

西磯ノ目 小玉 明子

「俳句」

地球とは奇跡の星よ月照す

上町 本間 富子

長老の謡朗 八郎瀉町 北し

嶋 美保子

楽しそう友か女めおと夫おとこか黄蝶きんてつ二羽

湯ノ又 松羽 橋 テル子

満月や千枚田をのみこんで

八田 伊藤 藤 豊子

「川柳」

あの角を曲がればすぐに泣けるから

台 いたう 百花

相槌を打って外せぬ席になり

西野 佐藤 ちずる

白いハト一羽もない世界地図

新畑町 荒川 一 滴

風の向き変えてみようか視線

八郎瀉町 桜庭 湖 風

ごじょうめの
文芸

